

本年は冷夏であった為か、紅葉が例年より早い感じだ。ゴルフ場のナナカマドの実がかなり赤くなり、葉も黄色が増したようだ。TVで大雪山の紅葉の状況を放映していたが、大分進んできたようだ。当地も間もなく十勝晴れの下に映える紅葉が見られるだろう。

朔東地区の紅葉スポットを調べてみた。昨年も紅葉らしい紅葉を堪能する余裕がなかったが、今年もどうやら、昨年同様演習で、駄目かも知れぬ。その代わりに、演習場の紅葉を眺めることにしたい。そのような余裕があるかどうかは不明だが・・

紅葉のスポットを紹介する前に紅葉に関する若干の話題を提供したい。



1 何故、紅・黄葉するか？

最低気温が 8 度C以下になると、落葉植物の葉は、紅・黄葉する。紅葉するもの或いは黄葉するものがある。紅葉化するのは、葉柄基部に離層が出来て、糖類が移動出来なくなって葉に蓄積され、その糖類が「アントシアン」や「フラボン」等の赤い色素に変わって出来る。葉にもともとあった緑色の色素「クロロフィル」は壊れてしまう。黄色くなるのは、葉には前述のクロロフィルの他に「カロチノイド」と言う黄色い色素があるが、クロロフィルが早く分解するので、黄色が目立ってくるという次第である。

一方、褐色になるのは、「フロバフェン」と言う色素が合成されるからである。

2 紅・黄葉の南下速度は？

紅葉前線の南下速度は、北から順次一日 30k m弱程度の速さで南下する。標本木はイタヤカエデ。従って、およそ 50 日弱で日本列島を縦断する。

3 鮮やかな紅葉が出来る条件

昼夜の気温の較差が大きいと緑の色素「クロロフィル」の分解が促進される。更には、十分な日照時間がある事が重要だ。たっぷりと糖分が蓄積されて赤い色素のアントシアンが増える。第 3 番目の条件としては、葉が枯れないことであり、ある程度の水分が必要だ。かかる条件を満足する渓谷等に紅葉の名所が多い。空気が澄んでいるから紅葉の鮮やかさが映えるとも言われる。

4 朔東の紅葉の名所(順番必ずしも小生の好みの順にあらず)

① オンネトー

北海道 3 大秘湖のひとつのオンネトウの紅葉は、七色に変化する湖の色と雄大な阿寒富士・雄阿寒岳を背景に湖に映る紅葉がえも言われぬ美しさを表現している。

② 摩周湖

霧の摩周湖の裏摩周展望台から、湖の全景と摩周岳を臨みつつ。あるホームページでは余り期待出来ないとの批判があったが、どうだろう。

③ 知床一帯

展望台から眺める双美の滝と呼ばれるオシンコシンの滝とオホーツク海と知床連山の一大パノラマは壮観である。同じく、峠付近に草モミジの広がる知床峠も素晴らしいが、知床五湖まで足を伸ばしてみるのも良い。知床五湖の原生林が黄金に染まるのは圧巻だ。迫力ある景観をも楽しむならば、海岸から眺めてみたらどうだろうか。海上から眺める断崖絶壁と知床連山のとりどりの紅葉は又格別である。

④ 然別湖

矢張り湖から眺めるのが最高だろう。然別湖から東雲湖まで足を伸ばして、な気ウサギとの出会いに挑戦したらどうだろう。

⑤ 糠平湖や土幌のアーチ橋周辺

「全山燃えるが如く」と形容しているHPもある。

⑥ 阿寒湖畔

遊覧船に乗船して湖岸の紅葉を眺めるのも一興である。滝見橋周辺が見所。

⑦ 岩内仙峡

壮大な渓谷に赤く色付くモミジは壮観である。写真撮影のスポットなのだろう、昨年は大勢のカメラマンが砲列を敷いていた。ピョウタンの滝も結構だ。

⑧ 標茶町中学校の並木道

⑨ 三国峠、狩勝峠、日勝峠等の各峠

⑩ 屈斜路湖畔

日本最大級のカルデラ湖の中島を美幌峠や藻琴山から一望出来る。

⑪ 釧路湿原や空港周辺の北斗地区

⑫ 管内の防風林

唐松が黄葉して、黄金色に染まると、それはそれで非常に見応えがあると小生は思うのだが、

5 某のお勧めスポット

師団司令部の某から情報提供のあった「知られざる紅葉の名所」を紹介する。

① トムラウシ付近

● 十勝ダムから十勝川峡谷沿いの紅葉は一見の価値あり。

● トムラウシ温泉付近

トムラウシ展望台から眺めるニペソツ山西側一帯の眺望はお勧め

② 糠平スキー場付近

糠平～然別、道道 85 号線沿いからの糠平湖一帯の紅葉

(参考:百科事典、各種HP、聞き取り)